

## 県総合防災訓練

平成29年9月3日（日）金沢市一円において第58回目となる県総合防災訓練が行われ、述べ106の関係機関、18,000名が参加して行われました。同日午前9時頃、森本・富



樫断層帯を震源とするマグニチュード7.2（震度6強）の地震が発生したとの想定で行われ、本会からは日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（SSI）として13名の会員が参加し、活動場所となった金沢市立千坂小学校体育館において、避難途中における負傷等に対応し救護所を設置、避難住民に対する救護・ケア活動を実施しました。

会場では、負傷者にペットボトルと包帯を使用した関節固定を行ったり、新聞紙や雑誌を副木（添え木）の代用として固定したり、レジ袋を切って三角巾の代用をするなどして、災害時に身の回りの物を利用した応急処置の仕方を実演しました。救護所に訪れた小学生や地域住民の方々も、骨折や捻挫の固定が身近な日用品を使用して出来ることや、手際よい応急処置の仕方に関心していました。

また、途中視察にみえた谷本正憲知事には激励と労いの言葉をかけて頂きました。

本年は、自然災害が多発し各地で避難勧告が出されており、河川の氾濫などにより道路が寸断され多くの方が取り残されるなどの被害も出ています。参加者は何時起こるか分からない災害に対して、備えや訓練の必要性を再認識できた有意義な活動となりました。



広報員 錦川孝彦

